



Book Review

ご存知ですか？

ライフステージでわかる 歯と口の健康ガイド

第 21 回日本歯科医学会総会
記念誌編集委員会 編

本書は、第 21 回日本歯科医学会総会を記念して出版された。現在の歯科医学は高度に専門化しつつある一方、これらの多くの情報が氾濫し、患者が混乱しているのも事実である。このような現状を考慮し、日本大学歯学部の方々が中心となり「乳・小児期」「青年期」「中・高年齢期」「高齢期」のライフステージ別に、基本的な歯科医学だけでなく歯科医学と全身の健康とのかかわりまで、一般市民にわかりやすく解説されているのが本書の特徴である。すべての項目が患者の興味を引くタイトルに沿って見開き 2 ページにコンパクトにまとめられているため、まさに歯科医院や病院などの医療機関の待合室にお勧めの 1 冊といえる。

【乳・小児期】

本項では、無歯期から乳歯咬合の完成期までの口腔の発育やそれらが体全体の発育に与える影響について解説されている。また、発育に合わせたブラークコントロールや食生活のポイントを中心に、子育てをしていくうえで不安や疑問に思うことが、親の視線の立場から理解しやすいようにまとめられている。これらを理解することにより、子どもの良好な口腔内環境を維持するためには、家庭と歯科医院との連携の重要性が認識できる。

【青年期】

本項では、白く健康な歯は、ただ単に審美を追求するもので

はなく、同時にその人の QOL を高めることができるという視点から、ホワイトニングや矯正治療、また齲蝕や歯周病治療について解説されている。これらは白い歯に憧れをもっている人々にも、歯科医療に興味や希望をもたせる内容となっている。

【中・高年齢】

本項では、この年代に最も問題となる歯の欠損部に対する治療法として、義歯やインプラントを中心に説明されている。また口腔粘膜疾患や金属アレルギー、睡眠時無呼吸症候群についても、その病態や対処法について解説されている。特に口腔粘膜疾患や金属アレルギー、睡眠時無呼吸症候群と歯科医療とのかかわりについては、興味をもつ人々も多いと思われる。

【高齢期】

本項では、高齢化社会を迎える日本において高齢者が元気に活躍するためのポイントを「歯を残存させ、咀嚼機能を維持する意義」という視点で解説している。また摂食嚥下や口腔乾燥症など、近年問題にされている話題にも触れている。これらにより高齢者の良好な口腔内の維持には、歯科医療との連携の重要性が再認識できる。

【当院での有効活用】

本書は、第 21 回日本歯科医学会総会のメインテーマ「めざせ！健・口・美—未来に向けた歯科医療—」に沿って一般市民や患者向けにまとめられたもの



A5 判変、60 頁
定価 2,100 円
(本体 2,000 円 + 税 5%)
医歯薬出版刊

であるが、当院では本書の内容を中心に受付スタッフ、歯科衛生士とともに院内のスタッフの歯科医療に関する知識の確認と向上に役立てている。本書に記載されている各項のテーマは患者からの質問でも多く認められるため、それぞれのテーマごとにスタッフ間で意見を述べることでより深い専門知識が深まり、医院のコンセプトとして統一化を図ることができる。また、それぞれのテーマがコンパクトにまとめられているので少ないミーティングの時間でも少しずつ勉強を進めることが可能で、最終的にはライフステージを通じた連続的な知識の蓄積につながる。このような理由から、本書は当院では院内勉強会のテキストとして重宝している。

須崎 明

(愛知県・ばんだ歯科)